

## <飲酒運転の撲滅に対する県民の意識について>

### 【調査の目的】

福岡県では、平成24年9月全面施行された全国初の罰則付きの「飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例」(※1)(以下「飲酒運転撲滅条例」といいます。)に基づき、飲酒運転撲滅に係る様々な取組みを実施しています。これらの周知状況等について県民の皆様のご意見をお聴かせいただき、今後、取組みを推進する上での参考とさせていただきたいと思ひます。

### 【活用状況】

- ・飲酒運転撲滅条例の内容をはじめ、県で行っている飲酒運転撲滅対策に係る事業を広く県民に周知するための参考資料として活用
- ・来年度以降の飲酒運転撲滅キャンペーンの効果的な実施に向けた検討資料として活用
- ・効果的な広報啓発を行うための参考資料として活用

### ※1 飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例とは

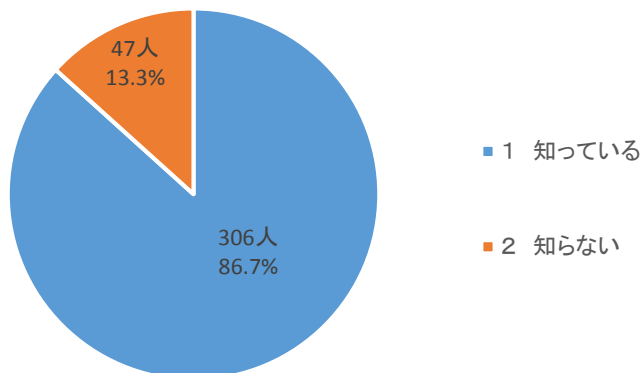
本県において深刻な状況にある飲酒運転の撲滅を推進し、飲酒運転のない、県民が安心して暮らせる社会を実現するため、平成24年2月の県議会で議員提案により制定された全国初の罰則付きの条例です。

問1 福岡県の飲酒運転事故件数が全国の中でもワーストレベルであること(平成29年は全国ワースト11位)をご存じですか。

次の中から【1つだけ】選んでください。

(N=353 選択は1つのみ)

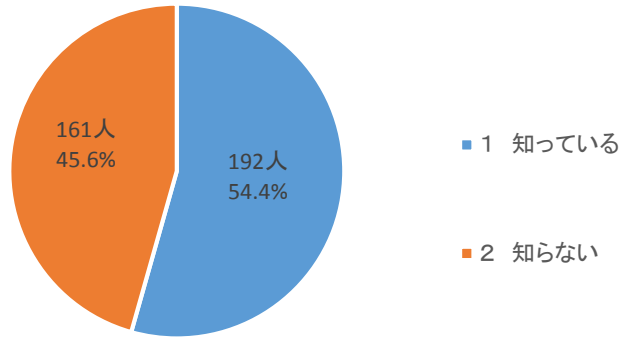
|         |       |        |
|---------|-------|--------|
| 1 知っている | 86.7% | (306人) |
| 2 知らない  | 13.3% | (47人)  |



問2 福岡県では、平成24年に全国初の罰則付きの「飲酒運転撲滅条例」が施行されましたが、このことをご存知ですか。  
次の中から【1つだけ】選んでください。

(N=353 選択は1つのみ)

|         |       |        |
|---------|-------|--------|
| 1 知っている | 54.4% | (192人) |
| 2 知らない  | 45.6% | (161人) |

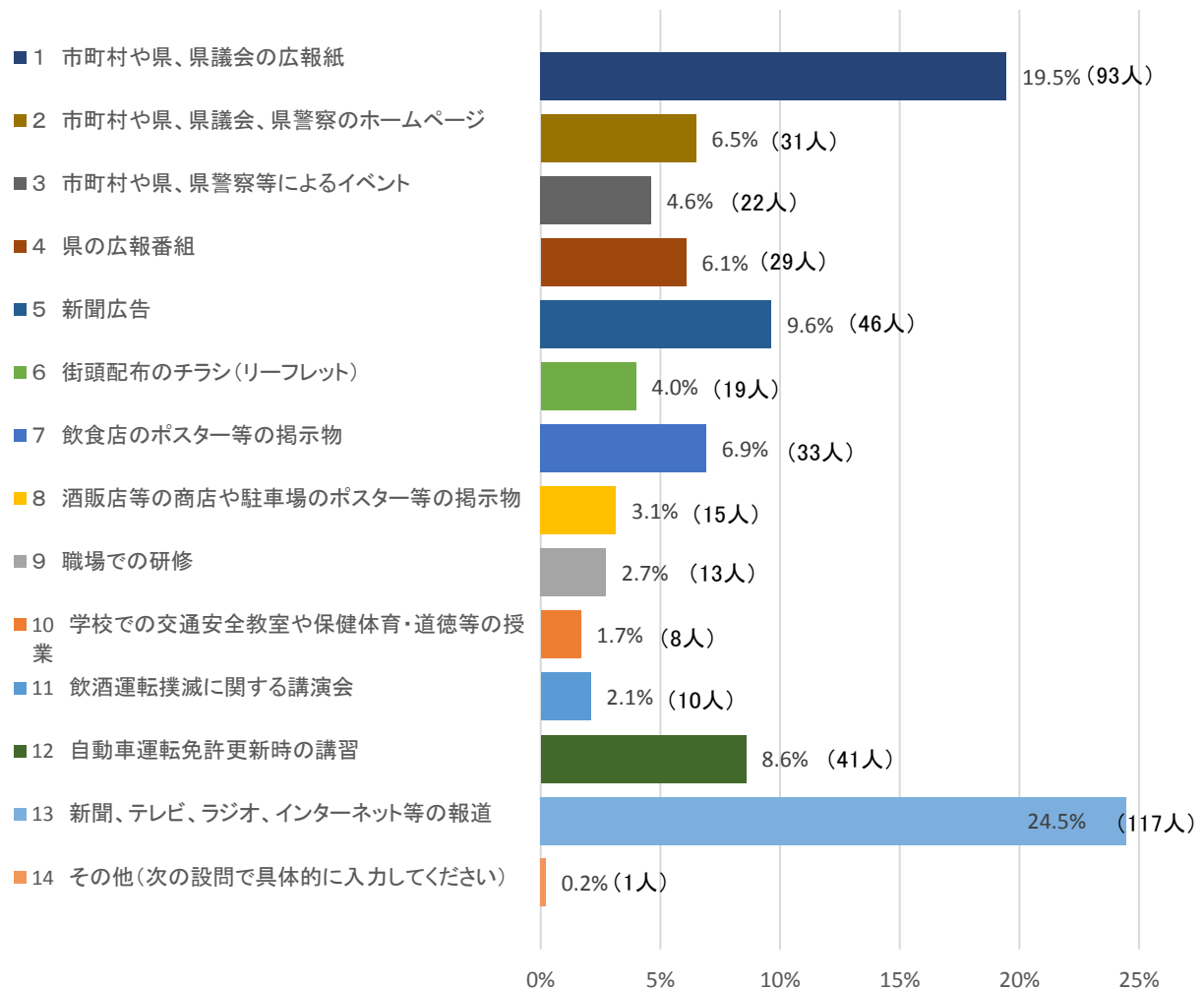


問3（問2で「1」を選択された方にお尋ねします。）

福岡県で平成24年に全国初の罰則付きの「飲酒運転撲滅条例」が施行されたことを知ったきっかけを、次の中から【全て】選んでください。

（回答者数192人、回答件数478件、複数選択可）

|                           |       |        |
|---------------------------|-------|--------|
| 1 市町村や県、県議会の広報紙           | 19.5% | (93人)  |
| 2 市町村や県、県議会、県警察のホームページ    | 6.5%  | (31人)  |
| 3 市町村や県、県警察等によるイベント       | 4.6%  | (22人)  |
| 4 県の広報番組                  | 6.1%  | (29人)  |
| 5 新聞広告                    | 9.6%  | (46人)  |
| 6 街頭配布のチラシ(リーフレット)        | 4.0%  | (19人)  |
| 7 飲食店のポスター等の掲示物           | 6.9%  | (33人)  |
| 8 酒飯店等の商店や駐車場のポスター等の掲示物   | 3.1%  | (15人)  |
| 9 職場での研修                  | 2.7%  | (13人)  |
| 10 学校での交通安全教室や保健体育・道徳等の授業 | 1.7%  | (8人)   |
| 11 飲酒運転撲滅に関する講演会          | 2.1%  | (10人)  |
| 12 自動車運転免許更新時の講習          | 8.6%  | (41人)  |
| 13 新聞、テレビ、ラジオ、インターネット等の報道 | 24.5% | (117人) |
| 14 その他(次の設問で具体的に入力してください) | 0.2%  | (1人)   |



問3-2 問3で「14」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

( N=1 )

・自動車学校の授業

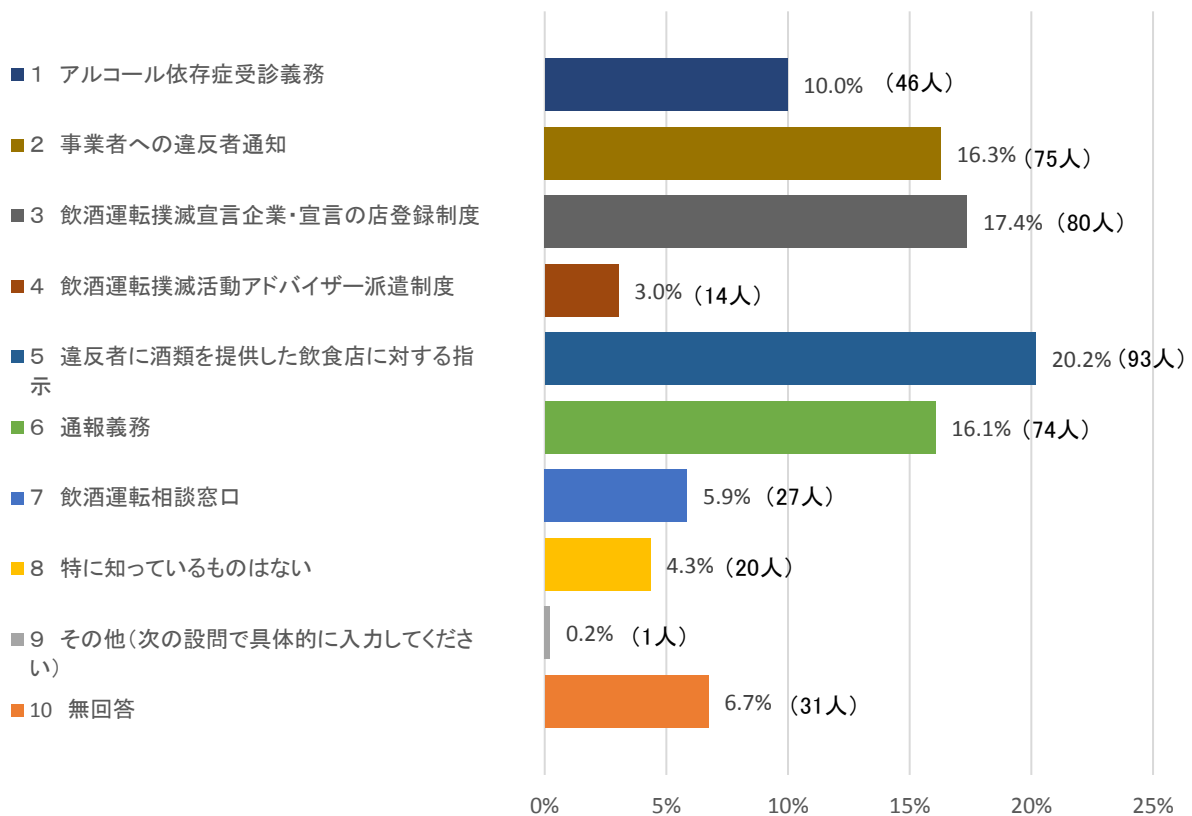
問4（問2で「1」を選択された方にお尋ねします。）

飲酒運転撲滅条例に基づいて、福岡県では飲酒運転撲滅に向けた様々な施策（※2～8）を実施しています。

次の中から知っているものを【全て】選んでください。

（回答者数192人、回答件数461件、複数選択可）

|                          |       |       |
|--------------------------|-------|-------|
| 1 アルコール依存症受診義務           | 10.0% | (46人) |
| 2 事業者への違反者通知             | 16.3% | (75人) |
| 3 飲酒運転撲滅宣言企業・宣言の店登録制度    | 17.4% | (80人) |
| 4 飲酒運転撲滅活動アドバイザー派遣制度     | 3.0%  | (14人) |
| 5 違反者に酒類を提供した飲食店に対する指示   | 20.2% | (93人) |
| 6 通報義務                   | 16.1% | (74人) |
| 7 飲酒運転相談窓口               | 5.9%  | (27人) |
| 8 特に知っているものはない           | 4.3%  | (20人) |
| 9 その他(次の設問で具体的に記入してください) | 0.2%  | (1人)  |
| 10 無回答                   | 6.7%  | (31人) |



問4-2 問4で「9」を選んだ場合は、その内容を具体的に記入してください。

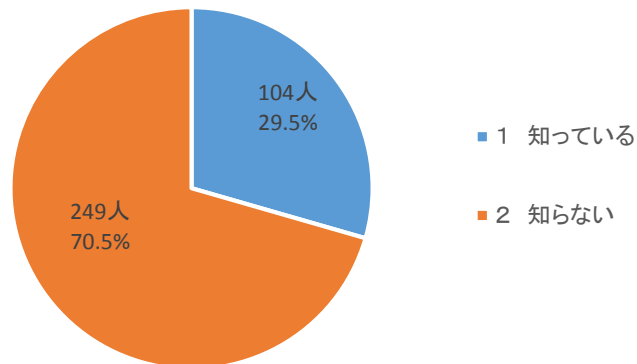
( N=1 )

・飲酒ゼロ運動で天神地区を青い旗とウェアで歩く運動を先日見かけた。

問5 福岡県では、飲酒運転撲滅の県民意識を定着させる上で、警察官への通報義務を根付かせるため、今年度から、飲酒運転撲滅運動のキャッチフレーズを、「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない」から「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない。そして、見逃さない」に変更していますが、このことをご存知ですか。  
次の中から【1つだけ】選んでください。

(N=353 選択は1つのみ)

|         |       |        |
|---------|-------|--------|
| 1 知っている | 29.5% | (104人) |
| 2 知らない  | 70.5% | (249人) |

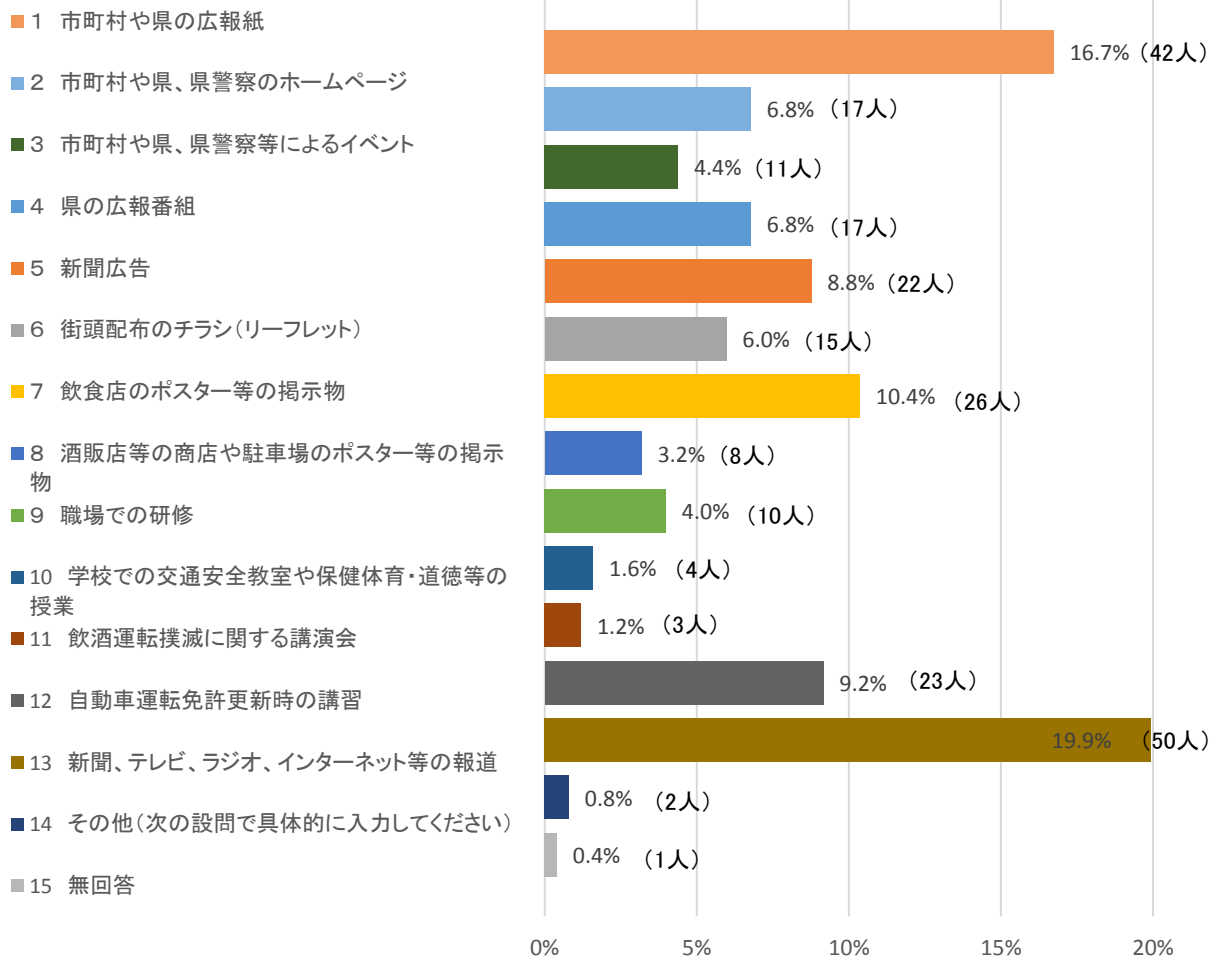


問6（問5で「1」を選択された方にお尋ねします。）

飲酒運転撲滅運動のキャッチフレーズが「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない。そして、見逃さない」に変更されたことを知ったきっかけを、次の中から【全て】選んでください。

（回答者数104人、回答件数251件、複数選択可）

|                           |       |       |
|---------------------------|-------|-------|
| 1 市町村や県の広報紙               | 16.7% | (42人) |
| 2 市町村や県、県警察のホームページ        | 6.8%  | (17人) |
| 3 市町村や県、県警察等によるイベント       | 4.4%  | (11人) |
| 4 県の広報番組                  | 6.8%  | (17人) |
| 5 新聞広告                    | 8.8%  | (22人) |
| 6 街頭配布のチラシ(リーフレット)        | 6.0%  | (15人) |
| 7 飲食店のポスター等の掲示物           | 10.4% | (26人) |
| 8 酒飯店等の商店や駐車場のポスター等の掲示物   | 3.2%  | (8人)  |
| 9 職場での研修                  | 4.0%  | (10人) |
| 10 学校での交通安全教室や保健体育・道徳等の授業 | 1.6%  | (4人)  |
| 11 飲酒運転撲滅に関する講演会          | 1.2%  | (3人)  |
| 12 自動車運転免許更新時の講習          | 9.2%  | (23人) |
| 13 新聞、テレビ、ラジオ、インターネット等の報道 | 19.9% | (50人) |
| 14 その他(次の設問で具体的に入力してください) | 0.8%  | (2人)  |
| 15 無回答                    | 0.4%  | (1人)  |



問6-2 問6で「14」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

( N=2 )

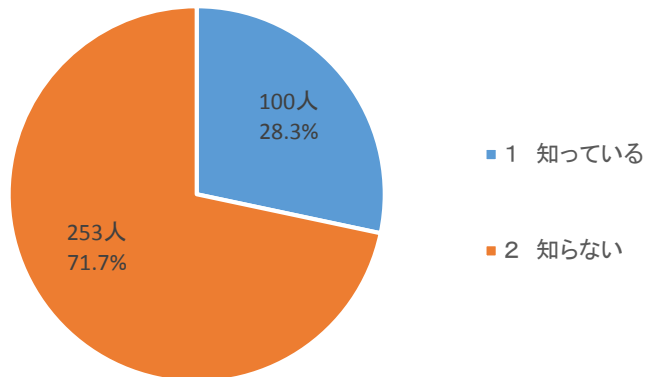
- ・西鉄バスのアナウンス
- ・バス車内で聞いた

問7 福岡県では、「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない。そして、見逃さない」という県民意識の定着を図るため、8月25日から12月31日まで「飲酒運転撲滅キャンペーン」を実施していますが、このことをご存知ですか。

次の中から【1つだけ】選んでください。

(N=353 選択は1つのみ)

|         |       |        |
|---------|-------|--------|
| 1 知っている | 28.3% | (100人) |
| 2 知らない  | 71.7% | (253人) |

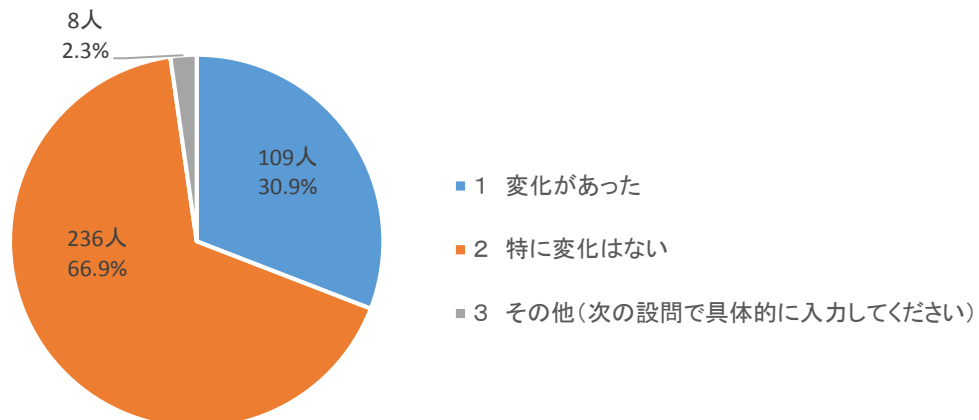


問8 近年における飲酒運転撲滅運動等をきっかけとして、ご自身や周囲の方々の飲酒運転撲滅に対する意識に何らかの変化がありましたか。

次の中から【1つだけ】選んでください。

(N=353 選択は1つのみ)

|                          |       |        |
|--------------------------|-------|--------|
| 1 変化があった                 | 30.9% | (109人) |
| 2 特に変化はない                | 66.9% | (236人) |
| 3 その他(次の設問で具体的に記入してください) | 2.3%  | (8人)   |



問8-2 問8で「3」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

( N=8 )

(抜粋)

・自分の周囲にいる人はきちんとルールを守って飲酒を楽しんでいます。しかしなくならない…県の条例は評価できる取り組みだと思います。でももっと厳しいルールを作らないとなくなってしまう。残念ながら…究極は飲酒運転したら免許取消、以後10年再取得不可、プラス罰金刑。これでもなくならないか。

・今だに知り合いは飲酒運転を止めず、また提供する店も常連ということで黙認している。

問9 (問8で「1」を選択した方にお尋ねします。)

飲酒運転撲滅に対する意識にどのような変化があったかを差し支えない範囲で具体的に入力してください。

( N=109 )

(抜粋)

・飲酒運転をしようとしているのを見たら通報する。知り合いで飲酒されたら運転しないように確認するようにしようと決めたことです。

・周りで飲酒運転のニュースなどに対する嫌悪感がとても強くなっている感じがあるし、昔はよく居酒屋などで聞いてた大風呂敷でしょうが「ちょっと飲んだぐらいどうってことない。」などの調子に乗ったような発言を冗談でもする人を見かけなくなった。飲酒運転は重罪で最低の行為だという認識が強まったのだと思う。

・家族内で飲酒運転に対して話す機会が増えた。まわりでも、多くなった。

・「昔はちょっとくらい飲酒運転しても良かったけど、今はダメだね」と親が話していた。自分は飲酒運転なくて当たり前で免許を取得しているので同年代の意識の変化は感じていない。

・周辺で、近いからと言う理由で飲酒運転をしようとする人に、タクシーを勧めたりしている姿がよくみられるようになった

・飲酒後は運転できないくらいのレベルの意識だったが、さらに職を失う、信用失うなど、罪の意識が深くなったと思う。もし身近な人で飲酒運転している人がいれば絶対やめさせる。本当になくなってほしい！

・飲酒運転とその防止について関心が高まり、運転代行など関連する話題が出るようになった。理解は確実に普及していると思われる。

・飲み会の時に車で来ているかなどを確認し、飲酒を促さない雰囲気定着していると感じる。

・もともと家族は誰もお酒は飲まない方だが、飲酒運転をする人がいるということに対する警戒心が深まったと思う。また、飲み会などで、お酒を断りやすい雰囲気になっていると思う。

・ハンドルキーパーという言葉の浸透を感じるようになった。

・代行利用する人が明らかに増えた。声かけする人も増えた。

・会社でも飲酒運転で逮捕された場合、解雇もありうるという厳しい誓約書を書くようになった。

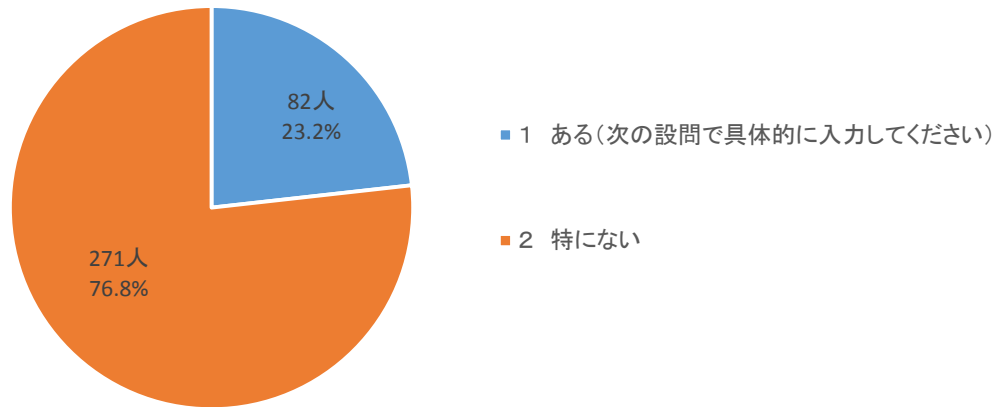


問10 飲酒運転の撲滅について、これまでの設問以外に意見（飲酒運転の撲滅のために必要だと思われること等）がありますか。

次の中から【1つだけ】選んでください。

(N=353 選択は1つのみ)

|                         |       |        |
|-------------------------|-------|--------|
| 1 ある(次の設問で具体的に入力してください) | 23.2% | (82人)  |
| 2 特にない                  | 76.8% | (271人) |



問10-2 問10で「1」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

主な意見(抜粋)

○厳罰化について

- ・飲酒運転の罰則強化をすべき
- ・運転免許の永久停止、懲役刑強化すべき

○広報・啓発について

- ・未だに、福岡県下の一部の行政の職員や警察職員も飲酒運転で検挙されますね、ですから、もっと抜本的な取り組みが必要です。交通安全の科目を、小中高で設定し、教えていくなどが大切です。更に、同時に、携帯電話を使いながらの運転の取り締まりも強化して欲しいです。飲酒の事案と同じくらい、安全面に問題がある運転ですから。

- ・近くの交番に飲酒運転撲滅のポスターが貼ってあるが古くなったり破れていて見るに忍びない。適宜更新し 警察官自らがポスターを大事にしているところを見せて欲しい

○検挙について

- ・検問を増やすなど、意識の低い人を厳しく取り締まってほしい。

○その他

- ・酒類の自販機の撤去、コンビニなどの夜間酒類販売規制などの施策

- ・意識改革はもちろん大事だと思うが、根本問題として公共交通機関にも課題があると思う。首都圏地域では1都3県の鉄道が発達しており、車を使わないでも帰宅することがある程度カバーできている。それがネックとなってどうしてもつい車で.....となってしまっている部分があるのではないかと。(断っておくが飲酒運転を認めているわけではない)

- ・飲酒すれば運転できないシステムの自動車開発。

- ・正直言って「飲酒運転撲滅」運動は行き過ぎているように感じます。飲酒運転に囚われるあまり、他の交通安全啓発が疎かになっていませんか。